

□議員名：長谷川 知司

1 水道管の敷設替えや財政計画について

論点	人口減少による使用水量の減少や施設の老朽化対策及び人材不足などで厳しい経済状況と思うが、水道料金の値上げを考えているのか。
回答	平成28年3月に策定したアセットマネジメントでは、毎年6億2千万円の事業が必要だが、水道法の改正等により、近隣事業との広域化や内部努力での経費削減を図り財政計画を策定する。水道料金の値上げは、これらの努力をした後での最終手段と考えている。

2 遊休地の利活用について

論点	施設の活用が終わった、あるいは変更となった市有財産の活用については、その方針が決まった段階で早期に全庁内で次の利活用を考えていくべきではないのか。
回答	現在は、その役目が終わるまで担当部署が抱えているが、今後は方針が決まった早い段階で、その後の利活用を早期にかつ全庁的に考えていきたい。

3 空き家の利活用について

論点	市内に空き家は増えていて、その利活用はなかなか進んでいない。その理由として、どこに相談したらよいのかわからないというのがあるが、市でアドバイスできる体制はあるのか。
回答	確かに空き家は増えていて、10月に空き家等対策計画を策定した。空き家の相談については市民生活課が窓口であるが、相談窓口のガイドを市民により周知するように他市の事例を含め検討したい。

4 地産地消の促進について

論点	市内農業従事者は高齢化が進み、後継者不足や農地の荒廃などが深刻な問題となっている。そこで地産地消の促進施策を聞く。
回答	学校給食センター、市民病院では、地産地消を指導しているが、地産地消を促進するシステムができていない。促進するための推進事業の掘り起こしや連携などを計画し、定めているところである。